



すずか倶楽部 南条 雄士 議員

- 1 目指せ!健康で文化的な小学校給食
- 2 目指せ!中学校愛情弁当先進市

質問1(1) 「ご飯食は日本の文化だ」という文化面と、「腹持ちが良く太りにくくて糖尿病になりにくい」「トランス脂肪酸が含まれていない」「ポストハーベスト農薬の危険性が無い」という健康面の理由から、週5回の完全米飯給食をおススメする。

質問1(2) 子供達の味覚を守り、日本の文化を伝えるため、化学調味料等を使わない無添加給食をおススメする。

質問1(3) ご飯給食には、鈴鹿名産のお茶をおススメする。

答弁1(1) 平成21年度から週1回増やし、週4回の米飯給食を実施する。完全米飯給食は今後検討する。

答弁1(2) 可能な限り成分を確認し、不必要な添加物は使用しないように努める。

答弁1(3) お茶は日本の風土に合い、郷土愛を育む素材でもあるが、現状では給食時の牛乳の提供を続ける。

質問2 中学校の弁当制が絶滅の危機に瀕している。お弁当には、『愛情』と『感謝』という、教育に非常に大切な要素が込められており、家族や生徒自身が考えて作る家庭食であるお弁当は、与えられた外食である給食に比べ、食育の教材としても非常に価値が高い。家族の繋がりの象徴とも言える心温まる中学校の愛情弁当制度を、先進市と認められる日が来るまで、信念を持って継続するべきである。

答弁2 中学校給食検討委員会の答申を踏まえ、教育委員会が実施方針を決定する。



市政研究会 市川 哲夫 議員

- 1 地球にやさしい暮らしとまちづくり
- 2 水道事業の拡大(広域化)
- 3 道路整備について

質問1(1) 市の温暖化(CO2削減)対策として現在実施している状況はどのようなものか。

答弁1(1) 平成9年の京都議定書の採択を受け様々な取組をしており本市独自の環境マネジメントシステム・太陽光発電及びクリーンエネルギー自動車等の補助事業またレジ袋有料化等各種啓発事業に積極的に取組んでいる。

質問1(2) 市の温暖化対策として今後の取組はどのように考えているのか。又、市全体の地域推進計画を策定し推進していくことが必要と思うがいかがか。

答弁1(2) これまでの取組を柱とし、更なるCO2削減数値が見えるかたちにする。例えば環境家計簿といったもので一人ひとりの実践活動を数値として把握する。地域推進計画策定については現時点では難しい。

質問2 災害時における安全な給水及び近隣市との境界の給水拡大についての考えは。

答弁2 消防組織法では県内消防相互応援協定で対応。水道局においては緊急取水拠点施設を市内8ヶ所に整備。尚、他市への給水は水道法及び市の条例で困難。

質問3 道路整備の進捗状況及び今後の市の取組み姿勢について。

答弁3 都市計画道路の市内幹線道路は52%が改良。遅延道路については誠意をもって早期解決を目指す。



新政会 佐久間 浩治 議員

- 1 市道神戸一丁目70号線の進捗状況
- 2 県道四日市鈴鹿環状線の歩道整備
- 3 県道鈴鹿環状線(都市計画道路)
- 4 市街化調整区域の見直しについて
- 5 市営住宅での外国人マナーについて

質問1 平成15年度から事業に入っているが、工事進捗状況と今後の予定は。

答弁1 平成22年度完成に向け計画的な工事を実施していきたい。

質問2 神戸中学校が来年新築移転されるため、生徒にとって危険な通学路となる、歩道整備の今後の取組は。

答弁2 三重県鈴鹿建設事務所等と安全対策につ

いて協議を重ね危険箇所の解消に向けて調整を図る。

質問3 中央道路の東部の延伸で国道23号から塩浜街道までが未だ手つかずであるが市・県の考え方は。

答弁3 当区間は県主体で施行予定で着手検討箇所として位置づけられている。関連道路の進捗により必要性が高まれば事業化される。

質問4 市街化区域に隣接し宅地利用されている地区は市街化区域に編入すべきではないのか。

答弁4 区域区分の変更決定は県によってなされる。ルールや条件を満たす場合変更される可能性がある。

質問5 市営住宅での外国人の入居状況と外国人入居者のマナートラブルの対応策は。

答弁5 全入居者の13%が外国人世帯で、スムーズに団地生活が送れるよう、生活ガイダンス事業や外国人リーダー養成事業を実施している。